



仙台塩釜港復興だより 第24号

- 港湾は人の心も結んでいます -

災害復旧事業の進捗状況

仙台塩釜港湾事務所では、現在仙台塩釜港（仙台港区、塩釜港区、松島港区）において、東日本大震災で被災した公共土木施設の災害復旧工事を進めています。平成31年3月末現在の災害復旧事業の進捗状況は、箇所ベースで全ての工事に着手済みであり、完了率は約89%となっています。

このうち、港湾施設については、仙台港区は平成28年度までに工事完了済み、松島港区は平成30年8月に完了済みで、塩釜港区は約92%の施設が完了しています。

一方、海岸保全施設（防潮堤）については、未着手となっていた塩釜港区浦戸諸島桂島の3地区の工事に着手できたことで全ての契約が完了。仙台港区は平成29年度までに工事完了済み、松島港区は平成30年10月に完了しており、塩釜港区は約55%の施設が完了しています。

残るは塩釜港区のみであり、引き続き施設の1日も早い復旧を目指して取り組んで参ります。

◎箇所数ベース(平成31年3月末)

(単位:箇所)

施設別	事業箇所数			箇所ベース	
	全体	着手済	うち完了	着手率(%)	完了率(%)
港湾施設	130	130(130)	124(123)	100 (100)	95 (95)
海岸保全施設	45	45(42)	30(25)	100 (93)	67 (56)
公園・緑地等	10	10(10)	10(9)	100 (100)	100 (90)
合計	185	185(182)	164(157)	100 (98)	89 (85)

※()内は平成30年9月末

◎事業費ベース(平成31年3月末)

(単位:億円)

施設別	事業費			金額ベース	
	全体	着手済	うち完了	着手率(%)	完了率(%)
港湾施設	187	187(187)	174(173)	100 (100)	93 (93)
海岸保全施設	156	156(153)	107(93)	100 (99)	69 (60)
公園・緑地等	8	8(8)	8(6)	100 (100)	100 (75)
合計	351	351(348)	289(272)	100 (99)	82 (77)

※()内は平成30年9月末

○仙台港区

◎箇所数ベース(平成31年3月末)

災害復旧事業の進捗状況(仙台港区)						
進捗状況	・港湾施設災: 37件		・海岸施設災: 3件		・環境関連災: 9件	
	着手: 37箇所, 完了: 37箇所 (100%) (100%)		着手: 3箇所, 完了: 3箇所 (100%) (100%)		着手: 9箇所, 完了: 9箇所 (100%) (100%)	

○塩釜港区





着手前



完成

中の島公園災害復旧工事(塩竈市中の島)



着手前



施工中

東宮浜胸壁(陸間)災害復旧外工事(宮城郡七ヶ浜町東宮浜笠岩)

◎箇所数ベース(平成31年3月末)

災害復旧事業の進捗状況(塩釜港区)			
進捗状況	・港湾施設災:76件	・海岸施設災:33件	・環境関連災:1件
	着手:76箇所,完了:70箇所 (100%) (92%)	着手:33箇所,完了:18箇所 (100%) (55%)	着手:1箇所,完了:1箇所 (100%) (100%)

○松島港区



着手前

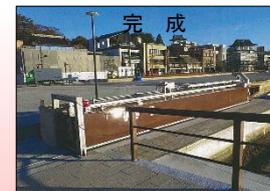


完成

海岸通胸壁(陸間)外災害復旧工事(宮城郡松島町松島字町内)



着手前



完成

海岸通胸壁(陸間)外災害復旧工事(宮城郡松島町松島字町内)

◎箇所数ベース(平成31年3月末)

災害復旧事業の進捗状況(松島港区)			
進捗状況	・港湾施設災:17件	・海岸施設災:9件	
	着手:17箇所,完了:17箇所 (100%) (100%)	着手:9箇所,完了:9箇所 (100%) (100%)	

「仙台塩釜港松島港区災害復旧工事竣工式」を執り行いました

仙台塩釜港松島港区は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う地震津波により、観光地をはじめ、公共施設については、さん橋、浮さん橋、船着場等の港湾施設や背後の胸壁等が被災する等、甚大な被害を受けました。

県では、これら被災した港湾施設の復旧のほか、胸壁等の海岸保全施設については、今後数十年から百数十年に一度程度発生する比較的発生頻度の高い津波(レベル1津波)に対応した施設の復旧を進めてきました。

今般、松島港区の災害復旧工事が完成したことから、平成30年11月17日(土)に松島町の石田沢防災センターで竣工式を執り行いました。竣工式では、地元の「松島五大堂太鼓の会」による演奏、主催者及び来賓挨拶、事業経過報告、くす玉開披等が行われました。

本工事の完成により、津波等による浸水被害から背後にある観光地が守られ、地域の皆さんや来訪者の皆様の安全安心の確保等が期待されます。



「松島五大堂太鼓の会」による演奏



「松島港区災害復旧事業」事業経過報告

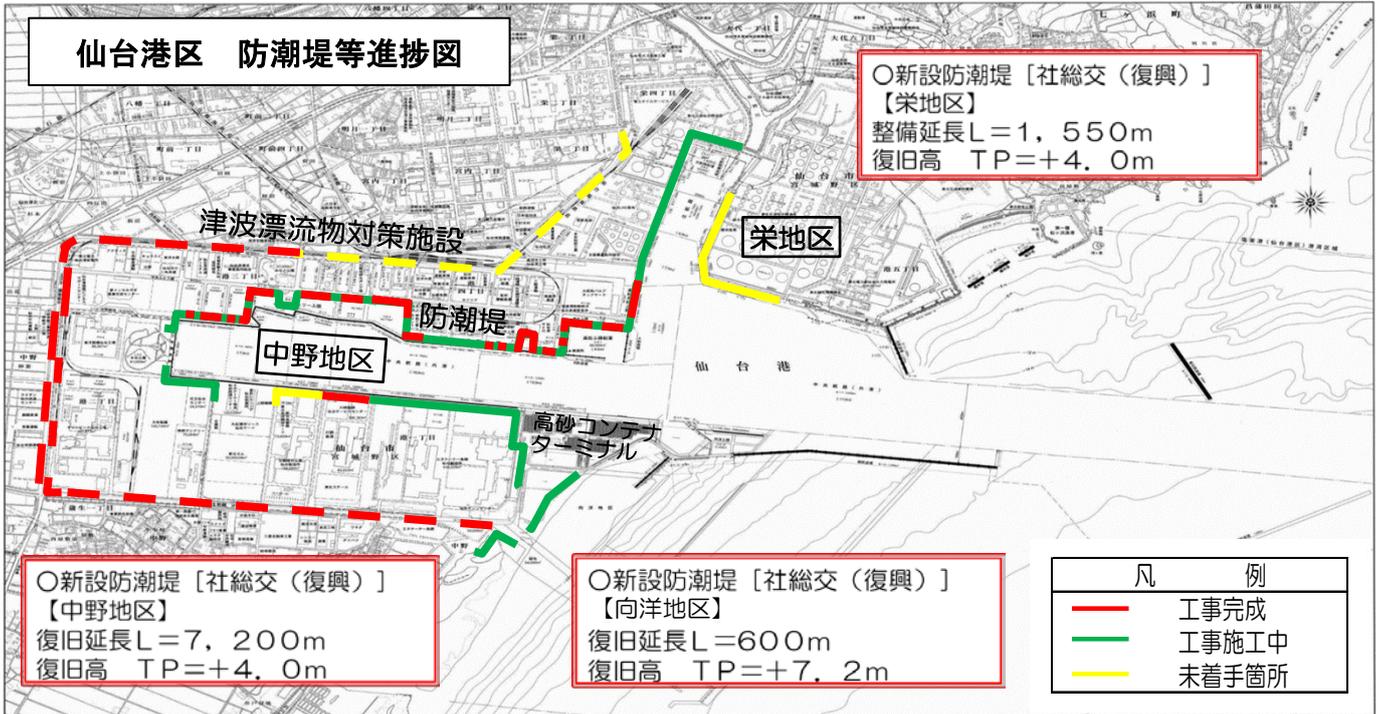


くす玉開披

復興事業（新規防潮堤整備等）の進捗状況

当事務所では、災害復旧事業と併せて、復興事業として防潮堤の新規整備を進めています。このほか仙台港区では、津波発生時に陸上に打ち上げられ流される漂流物等を対象に、これらの背後地への流出を防止するため、港周辺の臨港道路において津波漂流物対策施設設置事業を実施しています。

このうち仙台港区では、中野地区北側で防潮堤の整備が進んでいるほか、今年度新たに南側と栄西地区で工事に着手しました。また、津波漂流物対策施設については、中野幹線、蒲生幹線等で整備が進んでおり、塩釜港区では、中ふ頭、貞山ふ頭や北浜地区、及び浦戸諸島の桂島や寒風沢島等において、防潮堤や水門の整備を推進しました。



◎延長ベース(平成31年3月末)

港区	施設	全体	進捗状況			着手率(%)	完了率(%)
			着手済	完了	未着手		
港区全体	防潮堤(km)	14.4	11.1 (8.6)	5.1 (5.1)	3.3 (5.8)	77 (60)	35 (35)
	漂流物対策施設(km)	5.1	3.6 (3.6)	3.6 (2.9)	1.5 (1.5)	71 (71)	71 (57)
仙台港区	防潮堤(km)	9.2	5.9 (3.6)	2.1 (2.1)	3.3 (5.6)	64 (39)	23 (23)
	漂流物対策施設(km)	5.1	3.6 (3.6)	3.6 (2.9)	1.5 (1.5)	71 (71)	71 (57)
塩釜港区	防潮堤(km)	5.1	5.1 (4.9)	2.9 (2.9)	(0.2)	100 (96)	57 (57)
松島港区	防潮堤(km)	0.1	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)		100 (100)	100 (100)

※()内は平成30年9月末

仙台港区高砂コンテナターミナル拡張事業の進捗状況

4年連続最高記録を更新!!
H30(速報値):278,000TEU
 (対前年比106%)

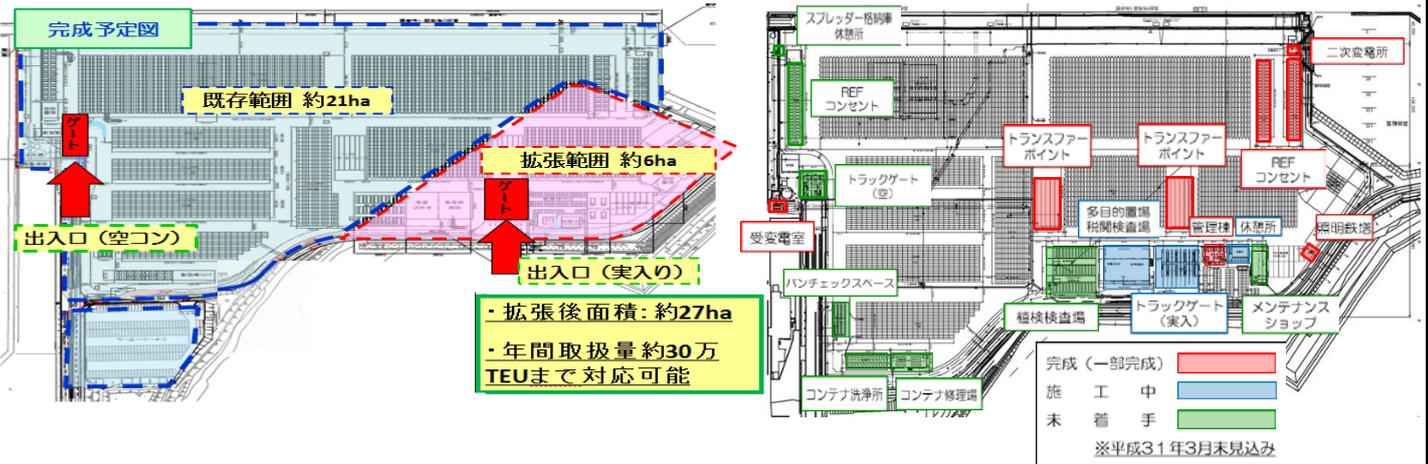


仙台塩釜港仙台港区にある高砂コンテナターミナルは、現在外貿コンテナ定期航路として北米西岸航路、中国／韓国航路、中国航路、韓国航路、ロシア極東航路等のほか、京浜港との国際フィーダー航路である内貿コンテナ定期航路を有しています。

仙台塩釜港の平成30年のコンテナ取扱貨物量は、速報値で27万8千TEU(※)となっており、平成23年発生の大震災等の影響で一旦落ち込んだ取扱貨物量は翌年から順調に回復しており、4年連続で過去最高を更新しました。

※「TEU」：長さ20フィートコンテナ1本を1TEUとしてカウント。40フィートコンテナは2TEUとなる。コンテナ取扱量の単位 (Twenty-foot Equivalent Unit)。

一方、取扱貨物量の増加に伴い、コンテナヤードの狭隘化や、ヤード内及び隣接する臨港道路上ではコンテナの受け渡しを待つセミトレーラで渋滞するといった問題も顕在化しており、これらに対応するため、現在高砂コンテナターミナルの拡張事業(約21ha→約27ha)を進めています。



現在の進捗状況は、平成31年3月末で約72%(※事業費ベース)となっており、今年度はコンテナヤード内の舗装工事を実施したほか、新管理棟の建築工事が完成しました。現在は、トラックゲートや多目的置場等の建築工事を進めており、平成32年4月の供用(暫定)に向けて、事業の進捗を図っています。



管理棟新築工事(完成)



トランスファーポイント舗装(完成)

※コンテナ積み替え場



リーファーコンセント(完成)

※冷凍コンテナ用電源供給装置

大型クルーズ船の寄港に向けた安全対策が完了しました

仙台塩釜港仙台港区の中野地区では、物流の効率化や輸送コストの削減、取扱貨物量が増加しているふ頭の混雑解消等を目的として、新たに高松2号岸壁（水深14m、延長280m）と背後地には野積み場、荷捌き地等が整備され、平成29年12月に供用を開始しています。

もう一つの効果が大型クルーズ船の寄港であり、高松2号ふ頭と中野1号ふ頭を合わせて活用できることで、大型クルーズ船の円滑な受け入れも可能となりました。今回、大型クルーズ船の寄港に向けた安全対策として、高松2号ふ頭に“着脱式”の係船柱と防舷材を増設しました。



着脱式係船柱

外貿コンテナ定期航路（中国航路）が新たに開設されました

仙台塩釜港仙台港区では、中国の連雲港とダイレクトに結ぶ新たな航路が開設され、平成30年12月4日に第1船が入港しました。

今回の航路開設により、中国とはこれまでの中国／韓国航路とあわせると5航路週5便となり、輸送頻度が上がることで、本県をはじめとする東北各県に立地する企業と世界各国との輸出入の利便性が更に向上することが期待されます。

当日は、航路新規開設と第1船入港を記念して、高砂ふ頭で歓迎セレモニーが開催されました。



編集事務局

宮城県仙台塩釜港湾事務所 企画担当チーム

〒983-0001 仙台市宮城野区港三丁目1-3 仙台港国際ビジネスサポートセンター5階

TEL：022-254-3131 FAX：022-254-3136

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgkown E-mail：sdsgkown@pref.miyagi.lg.jp